# 安全指導だより 10月号

令和８年 10 月 19 日（月）
西東京市立田無第四中学校
生活指導部　安全指導係

## ＜避難訓練の振り返り＞



９月は地震を想定した「西避難」の訓練を実施しました。本校では、校庭での点呼完了（全校生徒の生存避難完了）の目標時間を５分００秒と設定しています。今年度初めての西避難でしたが、目標時間を４０秒ほど過ぎてしまいました。西側の限られた階段を３学年で使用するため、階段が混雑してしまい避難に時間がかかってしまうことが課題となりました。

また、１０月は火災を想定した「西避難」の訓練を実施予定でしたが、天候や感染症の影響で避難をすることができなかったため、避難経路や避難時の注意事項を確認しました。避難訓練を行う主な目的は、自分の命を守るための基本的な行動を確認すること、そして災害発生時に落ち着いて冷静な行動ができるようにすることです。避難訓練は月に１度しか実施しませんが、万が一の事態に備えて、落ち着いた行動ができるようにしていきましょう。

## ＜台風への備え＞

熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びますが、このうち北西太平洋または南シナ海に存在し、低気圧域内の最大風速が１７m/s 以上のものを「台風」と呼びます。台風は太平洋高気圧の縁に沿って北上していきます。秋になると、太平洋高気圧の勢力が弱まりますが、日本の本州付近に南下してきた偏西風の影響により、台風は勢いを増して本州に直撃しやすくなります。

１０月１５日には、日本のはるか南の海上に台風３０号が発生しました。３０号到達は２０１３年以来、１３年ぶりとなり、今年は例年よりも早いペースで台風が発生しています。台風の影響により、家屋の倒壊や風で飛ばされた飛散物による負傷などの風害だけでなく、河川の増水による浸水などの水害ももたらします。台風が発生した際には、台風の進路を調べたり、大雨や暴風のなどの警報が出たりしていないかなど、安全な行動がとれるような準備をしておいてほしいと思います。

令和８年５月から、気象防災情報の伝え方が変わりました。警戒レベル４までには、必ず危険な場所から避難するようにしてください。



| 警戒レベル | 状況 | 住民がとるべき行動 |
|---|---|---|
| 5 | 災害発生又は切迫 | 命の危険　直ちに安全確保 |
| 4 | 災害のおそれ　高い | 危険な場所から全員避難 |
| 3 | 災害のおそれ　あり | 危険な場所から高齢者等は避難 |
| 2 | 気象状況悪化 | 自らの避難行動を確認 |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 災害への心構えを高める |




防災ノートより

**＜落とし物のお知らせ＞　落とし物ロッカーの場所：校長室前**

タオル（複数）・消しゴム（複数）・ハンカチ（複数）・キーホルダー（複数）・手鏡・くし・くつした（名前入り）・おまもりなどがあります。１か月程度持ち主が現れない場合は処分することになります。定期的なロッカーの確認をお願いします。